

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門管掌 兼CCO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052) 933-6519
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けIR電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	197,684	45.5	25,786	100.5	25,925	96.1	18,083	89.0
2024年3月期第3四半期	135,840	5.6	12,858	16.0	13,219	15.2	9,567	△35.8

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 16,058百万円(21.5%) 2024年3月期第3四半期 13,219百万円(△31.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 171.01	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	90.18	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第3四半期	百万円 477,890	百万円 146,027	% 29.2
2024年3月期	468,565	135,607	27.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 139,645百万円 2024年3月期 129,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 —	円 銭 29.00	円 銭 54.00
2025年3月期	—	27.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	33.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	247,000	22.4	26,000	23.1	26,300	20.6	17,700	11.4	167.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更
新規 社（社名）、除外 社（社名） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	108,520,799株	2024年3月期	108,520,799株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,621,398株	2024年3月期	2,950,763株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	105,741,069株	2024年3月期3Q	106,085,561株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ（投資家情報-IR資料）に「決算説明資料」を掲載いたします。（<https://www.resorttrust.co.jp/ir/>）

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

①当第3四半期連結累計期間の概況

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	135,840百万円	197,684百万円	+45.5%
営業利益	12,858百万円	25,786百万円	+100.5%
経常利益	13,219百万円	25,925百万円	+96.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,567百万円	18,083百万円	+89.0%
(参考) 評価営業利益	21,574百万円	24,820百万円	+15.0%

[前年同期比]

前年同期（2023年4月～12月）には、新規ホテルの開業が無かった（前期は前第4四半期に開業があった）のに対し、当期間（2024年4月～12月）には、「サンクチュアリコート琵琶湖」が10月に開業を迎え、今まで繰延べてきた不動産収益を一括で収益認識しました。

また、前年同期は、会員権事業において、2022年3月に販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月に販売開始した「サンクチュアリコート日光」を中心に、ホテル会員権の販売が好調でありましたが、当期間では、再販商品を含むベイコートシリーズなど既存ホテル会員権販売や開業を迎えた「サンクチュアリコート琵琶湖」、更には未開業ホテルの「サンクチュアリコート日光」に加え、2024年8月にサンクチュアリコートシリーズ第4弾となる「サンクチュアリコート八ヶ岳」を発売開始したことで、前年を上回る契約実績であったこと、メディカル事業において、メディカル会員権の販売が前年を上回り、引き続き好調に推移し、会員数の増加に伴う会費収入の積み上がりが収益へ貢献したことなどにより、ベースアップや新規施設開業に備えた人員増等に伴う人件費の増加、ホテルの修繕維持費の増加などによるコストアップを吸収し、リゾートトラストグループ全体として、増収増益となりました。また、不動産収益の繰延影響等を除いた「実力値」を示す「評価営業利益」は、会員権の販売好調により大きく進展しております。

（参考「評価営業利益」とは、未開業ホテルの会員権販売において、会員権代金の内「不動産代金」は、開業時に一括収益認識されることから、会計上、開業時まで繰延べられますが、その繰延利益が当会計期間中に計上されたと仮定した時の利益を表します。なお、加えて、メディカル会員権などの収益認識基準の影響も考慮し、当会計期間における実力値を示す経営指標として活用しております。）

[全体概況]

当第3四半期連結累計期間における、わが国経済は、持続的な賃上げによる雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復しておりますが、海外の様々な情勢不安が国内景気を下押しするリスクとして想定され、先行きは不透明であります。

このような環境下で、当社グループの状況は、前年度に引き続き、ベースアップや事業拡大に備えた採用強化を実施しました。これらの増加コストは、一部の商品（会員権）の価格を見直すことや、今後（2025年1月～）ホテルレストラン事業における年会費（運営管理費）の値上げ等により賄ってまいります。当期間においても、ホテル・メディカルの会員募集の好調が継続しており、更に「サンクチュアリコート八ヶ岳」を2024年8月に発売開始したことで、その新規募集の効果が販売を押し上げたことなどによる会員数の増加や2024年3月に開業した「サンクチュアリコート高山」のホテル稼働が増収に寄与したほか、2024年4月にも一部会員権の値上げを実施しました。2024年10月には、予定通り「サンクチュアリコート琵琶湖」を開業し、今まで繰延べていた不動産収益を一括計上しております。

この結果として、売上高は197,684百万円（前年同期比45.5%増）、営業利益は25,786百万円（前年同期比100.5%増）、経常利益は25,925百万円（前年同期比96.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18,083百万円（前年同期比89.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	27,735百万円	80,689百万円	+190.9%
セグメント利益	7,792百万円	23,654百万円	+203.5%

会員権事業におきましては、2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月から販売を開始した「サンクチュアリコート日光」の会員権販売がそれぞれ好調に推移したこと、既存ホテル会員権の販売割合が増えて利益率が高まったことに加え、2024年8月には「サンクチュアリコート八ヶ岳」を予定よりも早期に販売開始できたこと、また、2024年10月には「サンクチュアリコート琵琶湖」が開業を迎え繰延収益を一括計上したことなどにより、増収増益となりました。2024年4月からは一部会員権の価格を見直し、開発原価、建築コストの上昇やベア等件費増加に対応してまいります。

【ホテルレストラン等事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	72,574百万円	78,446百万円	+8.1%
セグメント利益	6,625百万円	3,541百万円	△46.5%

ホテルレストラン等事業におきましては、2024年3月に「サンクチュアリコート高山」が開業し、増収に貢献しましたが、台風等の影響で各ホテルの稼働率は伸び悩みました。コスト面では、昨年に引き続き、ベースアップや人事施策の実行、今後のホテル開業に備えた人材採用と育成への投資に加え、ホテルのメンテナンス費用を前倒しで実施していることなどにより、増収減益となりました。

【メディカル事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	35,000百万円	38,025百万円	+8.6%
セグメント利益	5,433百万円	5,676百万円	+4.5%

メディカル事業におきましては、健診施設の一部を新しいビルへ移転する費用など一時的なコストが発生しましたが、新たな健診施設を追加し拡大したほか、2024年8月から大阪・中之島を検診拠点とする「ハイメディック大阪中之島コース」の検診を、2024年10月からは「ハイメディック・ミッドタウン・イーストコース」の検診を、それぞれ開始しました。また、昨年に引き続き、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権募集が好調に推移し、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したことなどにより、増収増益となりました。

【その他】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	529百万円	522百万円	△1.3%
セグメント利益	563百万円	604百万円	+7.3%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は477,890百万円(前連結会計年度比2.0%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、会員制ホテルが開業したことや、新規施設の開発などに伴い、有形固定資産合計が7,125百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は331,863百万円(前連結会計年度比0.3%の減少)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未開業物件のホテル会員権販売が増加した一方で会員制ホテル開業に伴い繰延べていた不動産部分の収益を一括収益認識したことに伴い、前受金が9,958百万円減少したこと、また、その一方で、会員権販売に伴い償却型預り保証金が8,498百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は146,027百万円(前連結会計年度比7.7%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が12,109百万円増加したことなどによるものであります。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は29.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

※業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。従いまして予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる数値となる可能性があります。

本日(2025年2月14日)に開示した業績予想は以下の通りです。

2025年3月期 通期連結業績予想数値(2024年4月1日～2025年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比	当連結会計年度 (前回予想)	当連結会計年度 (期初予想)
売上高	201,803百万円	247,000百万円	+22.4%	245,000百万円	233,200百万円
営業利益	21,119百万円	26,000百万円	+23.1%	25,000百万円	22,000百万円
経常利益	21,807百万円	26,300百万円	+20.6%	25,300百万円	22,500百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,892百万円	17,700百万円	+11.4%	17,000百万円	15,900百万円

評価 営業利益	23,899百万円	27,800百万円	+16.3%	25,600百万円	22,300百万円
---------	-----------	-----------	--------	-----------	-----------

わが国における今後の経済情勢につきましては、持続的な賃上げによる雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、景気の緩やかな回復が期待されていますが、海外の様々な情勢不安が国内景気を下押しするリスクとして想定されております。

このような状況下で、当社グループは、「2023年4月～2028年3月までの中期5ヵ年経営計画」の2年目として、戦略を実行し、グループのアイデンティティである「ご一緒しますいい人生～より豊かでしあわせな時間を創造します～」の実践を通じた、「真のグループ経営」を実現してまいります。

通期業績の見通しについては、会員権事業において、2024年10月に会員制リゾートホテル「サンクチュアリコート琵琶湖」が開業を迎えたことで、これまで繰延べられていた不動産収益が一括計上されたこと、また、ホテルレストラン等事業、メディカル事業において、会員数の増加、単価の上昇等により運営収益が拡大することに加え、ベースアップ含む賃金の上昇を継続し、更なる生産性向上を目指した好循環を産み出すことなどから、当社グループ全体として売上高247,000百万円(前年同期比22.4%増)、営業利益26,000百万円(同23.1%増)、経常利益26,300百万円(同20.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、17,700百万円(同11.4%増)と過去最高の売上高と利益を更新し、増収増益を見込んでおります。

なお、2025年1月16日付で「3月末を基準日とする1株から2株への株式分割」を発表したことに加えて、本日付けで、会員権販売好調など直近の業績状況を鑑み、業績予想、配当予想を上方修正しております。

配当金の予想については、期末配当金の予想を増配修正しました。中間配当金27円、期末配当金は33円予想とし、年間配当金額は、前年同期に比べ6円増配の年間配当金60円(予想)となり、前期の年間配当金には創立50周年の記念配当4円を含んでいたため実質的には普通配当で10円増配と、過去最高の配当金額となる見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,752	29,129
受取手形、売掛金及び契約資産	11,314	12,756
割賦売掛金	77,978	88,374
営業貸付金	22,608	16,700
有価証券	8,758	5,553
商品	1,156	1,472
販売用不動産	5,388	4,929
原材料及び貯蔵品	1,788	2,453
仕掛販売用不動産	30,110	23,352
リース投資資産	3,762	3,341
その他	6,872	8,071
貸倒引当金	△966	△930
流動資産合計	200,525	195,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	100,027	105,934
機械装置及び運搬具（純額）	2,657	3,541
コース勘定	7,642	7,712
土地	48,376	50,789
リース資産（純額）	1,706	2,915
使用権資産	11,589	11,515
建設仮勘定	15,576	12,256
その他（純額）	4,811	4,850
有形固定資産合計	192,389	199,515
無形固定資産		
のれん	842	633
ソフトウェア	2,470	2,450
その他	2,833	3,564
無形固定資産合計	6,146	6,649
投資その他の資産		
投資有価証券	22,727	27,074
関係会社株式	1,339	1,345
長期貸付金	4,367	4,571
退職給付に係る資産	723	673
繰延税金資産	18,594	20,172
その他	22,175	23,102
貸倒引当金	△422	△419
投資その他の資産合計	69,504	76,520
固定資産合計	268,040	282,684
資産合計	468,565	477,890

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,787	2,476
短期借入金	1,650	7,008
1年内返済予定の長期借入金	8,755	654
リース債務	1,451	1,507
未払金	21,534	11,386
未払法人税等	4,595	6,865
未払消費税等	1,044	2,919
前受金	110,219	100,260
前受収益	15,116	22,132
債務保証損失引当金	31	25
ポイント引当金	487	449
その他	11,272	10,714
流動負債合計	177,946	166,401
固定負債		
長期借入金	2,172	2,695
リース債務	20,535	21,306
繰延税金負債	136	90
役員退職慰労引当金	-	21
株式給付引当金	785	877
退職給付に係る負債	3,054	3,318
長期預り保証金	29,109	29,275
償却型長期預り保証金	94,048	102,547
その他	5,169	5,329
固定負債合計	155,011	165,462
負債合計	332,957	331,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	21,610	21,490
利益剰余金	84,193	96,303
自己株式	△5,483	△4,930
株主資本合計	119,911	132,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,892	2,727
為替換算調整勘定	3,916	3,939
退職給付に係る調整累計額	652	524
その他の包括利益累計額合計	9,460	7,191
非支配株主持分	6,235	6,382
純資産合計	135,607	146,027
負債純資産合計	468,565	477,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	135,840	197,684
売上原価	13,692	49,154
売上総利益	122,148	148,530
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	43,471	49,545
役員退職慰労引当金繰入額	-	21
修繕維持費	3,696	4,238
水道光熱費	5,632	6,025
減価償却費	6,072	6,418
その他	50,417	56,494
販売費及び一般管理費合計	109,289	122,743
営業利益	12,858	25,786
営業外収益		
受取利息	602	564
受取配当金	73	59
持分法による投資利益	7	14
貸倒引当金戻入額	83	34
債務保証損失引当金戻入額	5	5
為替差益	1	8
助成金収入	122	137
その他	212	195
営業外収益合計	1,108	1,019
営業外費用		
支払利息及び社債利息	199	217
シンジケートローン手数料	44	36
控除対象外消費税等	258	367
その他	244	259
営業外費用合計	747	880
経常利益	13,219	25,925

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	24	26
関係会社株式売却益	-	1
投資有価証券売却益	-	2,245
有価証券償還益	1,478	1,094
その他	-	210
特別利益合計	1,502	3,577
特別損失		
固定資産売却損	24	9
固定資産除却損	57	43
減損損失	-	1,799
その他	0	8
特別損失合計	81	1,861
税金等調整前四半期純利益	14,640	27,641
法人税、住民税及び事業税	4,098	9,990
法人税等調整額	756	△676
法人税等合計	4,854	9,314
四半期純利益	9,785	18,327
非支配株主に帰属する四半期純利益	218	244
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,567	18,083

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	9,785	18,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,478	△2,164
為替換算調整勘定	1,986	23
退職給付に係る調整額	△31	△127
その他の包括利益合計	3,433	△2,269
四半期包括利益	13,219	16,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,000	15,813
非支配株主に係る四半期包括利益	218	244

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,735	72,574	35,000	135,310	529	135,840
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30	2,639	439	3,109	971	4,081
計	27,766	75,214	35,439	138,420	1,501	139,921
セグメント利益	7,792	6,625	5,433	19,851	563	20,415

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	19,851
「その他」の区分の利益	563
全社費用(注)	△7,556
四半期連結損益計算書の営業利益	12,858

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	80,689	78,446	38,025	197,161	522	197,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△14	3,436	661	4,083	1,488	5,571
計	80,674	81,883	38,686	201,244	2,011	203,256
セグメント利益	23,654	3,541	5,676	32,872	604	33,477

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	32,872
「その他」の区分の利益	604
全社費用 (注)	△7,691
四半期連結損益計算書の営業利益	25,786

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	6,585百万円	7,112百万円
のれん償却額	317百万円	320百万円